

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
概要	<p>町には多様な自然環境や歴史・文化等の地域資源が多数存在しており、その環境を暮らしの中に取り込むことで、住環境の魅力が形成されています。</p> <p>この魅力を町内外を問わず多くの人々に実感してもらうため、町の自然や歴史・文化等に触れられ、体験できる機会づくりを進めます。また、進学や就職等により町外へ転出しても、将来、生まれ育った二宮町に戻って子育てしたいと思ってもらえるよう、子どもたちに対して二宮町の自然や歴史、文化に触れられる機会づくりを進めます。</p> <p>観光で町を訪れた人が二宮に来ると「面白い」、「楽しい」と感じてもらい、「いずれは二宮町に住んでみたい」と思ってもらえるよう、観光情報の提供に努めつつ、「にのみやLife」の提案を推進していきます。</p> <p>さらに、ホールや図書館等を兼ね備えた生涯学習センター・ラディアンは町の文化・芸術活動の拠点であることから、多様な世代が集い、学習を深め、交流する場として、町内外への発信力を強化します。</p>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 生涯学習推進の仕組みづくり	1	A
(2) 家庭・地域の教育力の向上	2	B
(3) 地域スポーツの振興	1	C
(4) スポーツ活動支援の充実	1	B
(5) 文化・芸術の振興	1	B
(6) 町の歴史文化の継承	1	B
(7) 公園・広場の充実と適切な管理運営	1	B
(8) 緑地の保全と緑化の推進	3	B
(9) 自然環境と生物多様性の保全	2	A
(10) 水産振興の推進	2	B
(11) 観光情報の発信の充実	1	B
(12) コミュニティ活動支援	3	B
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館事業の展開や町民へのPR(SNSの活用)により、利用促進を図ったが、さらなる利用拡大を図るため、方策を検討する必要がある。 ・文化事業や文化団体への支援を継続するとともに、ラディアン施設のさらなる活用を図る必要がある。 	

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
	説明	施設稼働率や利用者の増加に向け、限られた資源を有効に活用しながら、利用者のニーズに応えるべく、創意工夫を重ねながら、取り組みを推進する必要がある。
	方向性	費用対効果を考慮した上で、利用者のニーズに応えるイベントの実施等により、施設利用者の維持・増加を図るとともに、情報発信を工夫することで、若年層を主体とした新たな利用者の開拓を図る。 また、SNSにより、図書館事業のPRを継続する。

◎最終評価者[庁内評価委員会]

A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
意見等	<p>環境と風景が息づくまちづくりを実現するためには、二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。</p> <p>今後さらに推進するために、文化団体等と連携し、町民が地域の歴史や文化に触れ、学ぶ機会を創出するとともに、学んだ人たちがその成果を地域に還元できる仕組みづくりを検討する。併せて、公共施設マネジメントを踏まえた文化施設の適切な維持管理とともに、その使われ方の質にも目を向け、町全体の文化力の向上と町民主体の文化活動の促進を図る。</p>